

令和5年度 ライフサポートヒラソル【事業所職員向け】児童発達支援自己評価集計結果（公表）

公表：令和6年3月31日

回答率：100%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	11	0	・活動内容によって部屋を分ける工夫をしている ・適切であると思うが、クラス分けをしなければ狭く感じる	・今後も人数に合わせて部屋を変更していく
	2	職員の配置数は適切であるか	11	0	・職員の能力や障害程度によって少ないと感じる	・研修等を通し職員のスキルを上げていく
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10	1	・パーテーションの使用している ・全員に対応できていない	・パーテーションを有効に使用し、わかりやすい環境作りをする
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11	0	・朝・夕に掃除機・モップ掛け掃除を行っている	・今後も継続して行っていく
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	11	0	・振り返りにより改善が必要なことが出た時は迅速に改善に向けて取り組んでいる	・今後も迅速に対応するように努めていく
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	11	0	・集計し職員間で周知し改善に向けて話し合っている	・今後も継続して行っていく
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	11	0	・毎年ホームページに公表している	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	10	1	・評議委員会等で対応	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11	0	・研修が豊富なため、機会は十分に確保されている ・毎朝の研修動画、毎月2回の研修	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	11	0	・契約や計画の更新に合わせてアセスメントをしている	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	11	0		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11	0		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11	0	・個別支援計画を元に支援を行っている	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	11	0	・担当は決まっているが、案はみんなを出している	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	11	0	・2か月は被らないようにしている。ただし、要望の多いものは毎月取り入れる	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	11	0	・午前 集団 午後個別の対応をしているためどちらも作成している	
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	11	0	・職員がつく児童を明確にしている ・毎朝打ち合わせを実施	・今後も継続して行っていく	

関係機関や保護者との連携	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9	2	・日誌に記入し、職員でも反省・改善点等振り返っている	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11	0	・毎日児童の様子を記入している	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	11	0	・6か月に一度行う	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	11	0	・担当職員と児童発達支援管理責任者が参加している	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	10	1	・市や支援センターなど関わる事例はまだ足りないが連携できる体制づくりはできていると思う	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	/	/		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	/	/		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	11	0	・保育所等訪問等で情報の共有を行っている	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	11	0	・年長児においては引き継ぎ書の作成をし各学校とへの共有している	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	10	1	・他事業所への見学・実習 ・オンラインでの研修を受けている	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	11	0	・法人内の事業所内託児所の子どもたちと2か月に1回交流を図っている	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	11	0	・法人内の相談支援専門委員が参加している	
	保護者への説明責任等	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	11	0	・連絡帳でのやり取りや面談等で伝えている
31		保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	11	0	・年に3回実施	
32		運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	11	0	・児童発達管理責任者より契約時に説明あり	
33		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	11	0		
34		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	11	0	・3か月に1度、希望により毎月面談を設けている	
35		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	3	・ペアレントトレーニングの実施	
36		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	0	・すぐに話を聞き、職員間で話し合い対応できることは迅速に行う。難しい場合は他の方法を提案する	
37		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11	0	・広報誌の発刊、配布	

	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	11	0	・児童や保護者から見えない場所に保管している	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11	0	・意思疎通の難しい児童には絵カードやジェスチャーで対応している	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	11	0	・しらとりまつりやバザーなど地域の方を招いている	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	11	0	・毎月の防災訓練・年に2回の防災総合訓練	・今後も継続して行っていく
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11	0		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	11	0	・毎年の服薬調査表を取り直し、服薬の変更等があった際にはその都度伝えて頂いている	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	11	0	・指示書を提出して頂きファイリングしている ・除去食・特別食の提供	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	11	0	・日々の支援の中でヒヤリハットが起こった際は記録し、月末までに取りまとめ会議での周知、改善を話し合っている	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11	0	・毎月、虐待防止のための研修を行っている ・職員が3ヶ月に1回、心身のセルフチェックを実施している	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	11	0	・身体拘束をする場合は、適切に決められた流れで対応し、同意書も記入して頂いている ・月1回、身体拘束委員会を行っている	